

◆災害軽減研究（研究期間：平成26年7月8日～平成27年3月31日）

（災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、「2.地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題）

No.	No.	代表者名	所属機関	継続・新規	担当教員	研究課題
1	火山1	望月伸竜	熊本大学	新規	企画部	伊豆大島テフラの自然残留磁化の基礎研究
2	火山2	大場 武	東海大学	新規	企画部	火山ガス観測による箱根山の熱水系構造解明と群発地震発生予測
3	火山3	伴 雅雄	山形大学	新規	企画部	那須岳、最新活動期の噴火推移詳細解析に関する研究
4	火山4	吉本充宏	山梨県環境科学研究所	新規	企画部	草津白根火山の過去5000年間の活動履歴の解明
5	火山5	和田恵治	北海道教育大学 旭川校	新規	企画部	十勝岳と雌阿寒岳における噴火推移の高分解能な解析とマグマ供給系
6	史料 1	津久井雅志	千葉大学	新規	企画部	史料にもとづく北海道渡島大島火山寛保噴火による山体崩壊とマグマ活動に関する研究
7	史料2	蛭名裕一	東北大学 災害科学国際研究所	新規	企画部	東北地方太平洋沿岸地域における歴史災害資料の収集と分析
8	史料 3	小嶋茂稔	東京学芸大学	新規	企画部	東アジア地震史料の研究—そのデータベース化と災異思想の研究—
9	海溝型 1	平内健一	静岡大学	新規	企画部	模擬断層ガウジの動的破壊過程に対する法線応力依存性
10	先行 1	織原義明	東京学芸大学	新規	企画部	公的研究機関以外が所有する計測データを用いた地下水の地震先行現象調査
11	先行 2	上田誠也	東京大学 地震研究所	新規	企画部	臨界現象の物理を背景としたナチュラルタイム概念による地震活動度解析